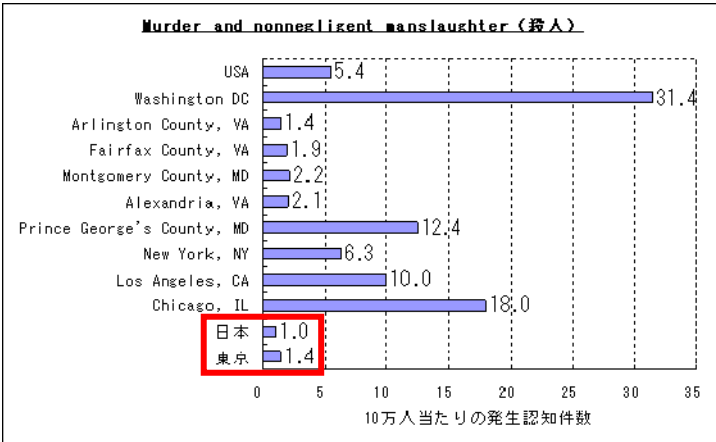
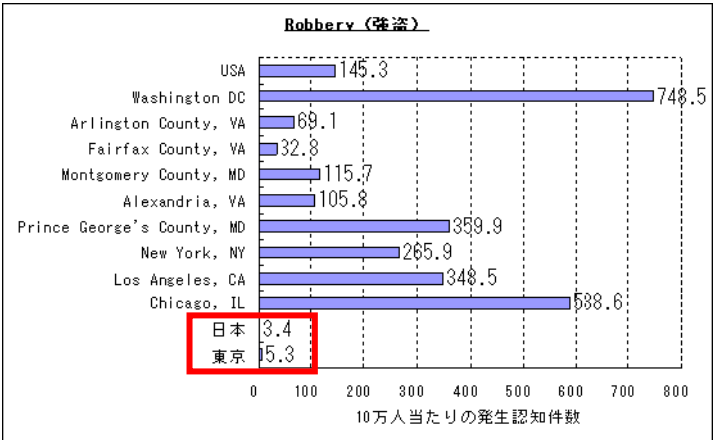
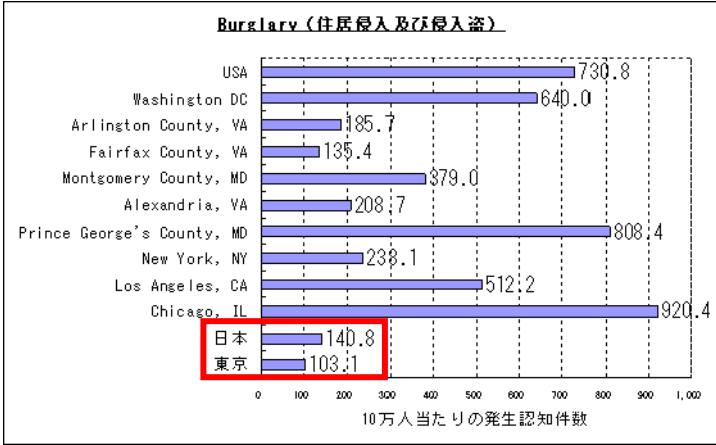
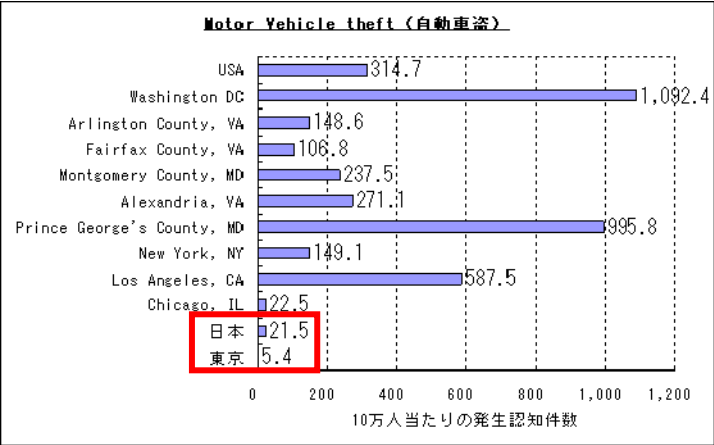


# 【魅力その3】 安全性・快適性

安心・安全な街、東京

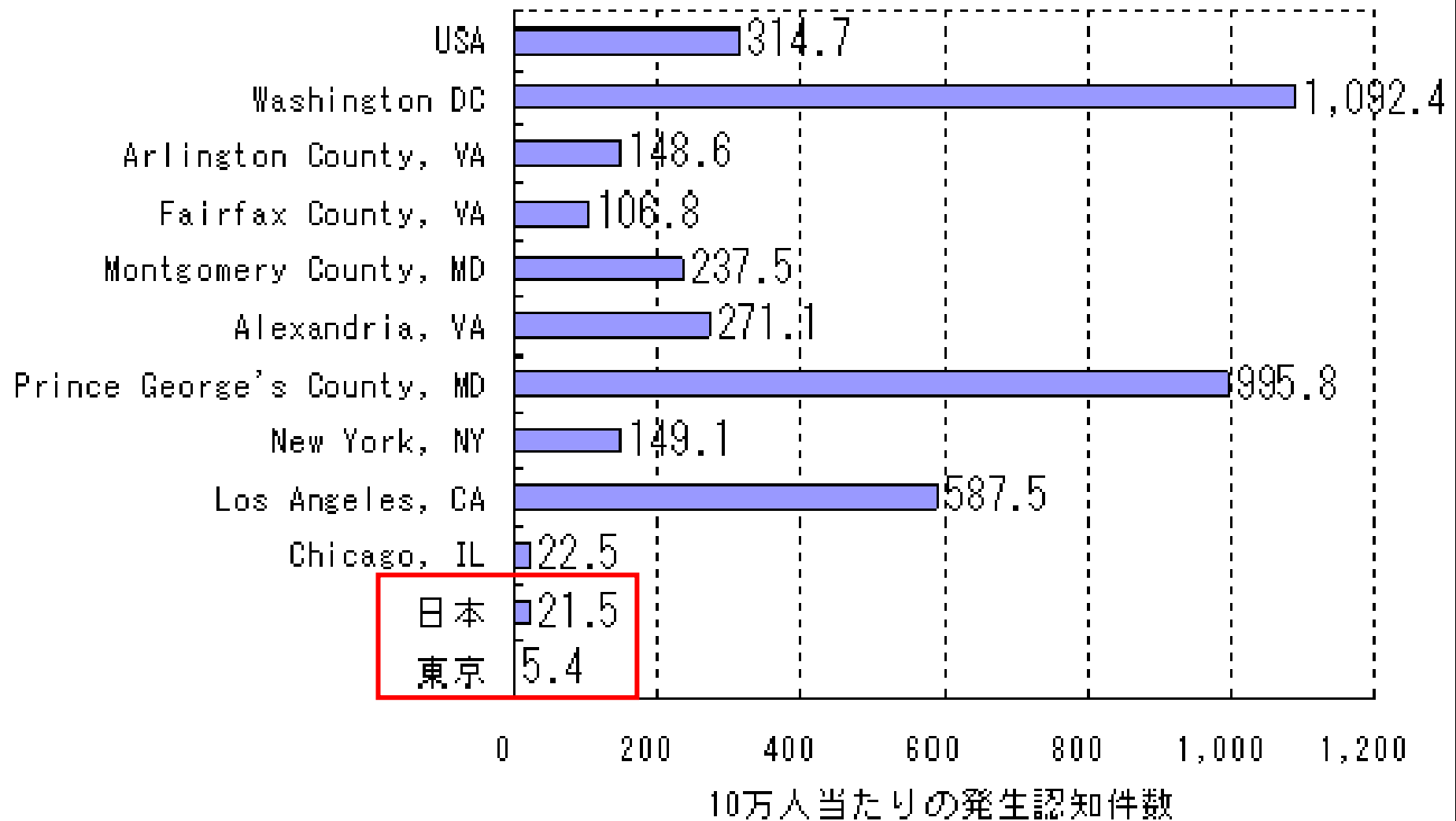


※在米日本大使館ホームページより

10万人当たりの発生認知件数を比較すると、**東京**の犯罪発生件数は、アメリカの主要都市に比べて格段に低いことがわかります。**東京**ほど**安心で安全**な住環境が整う世界都市は、他にありません。



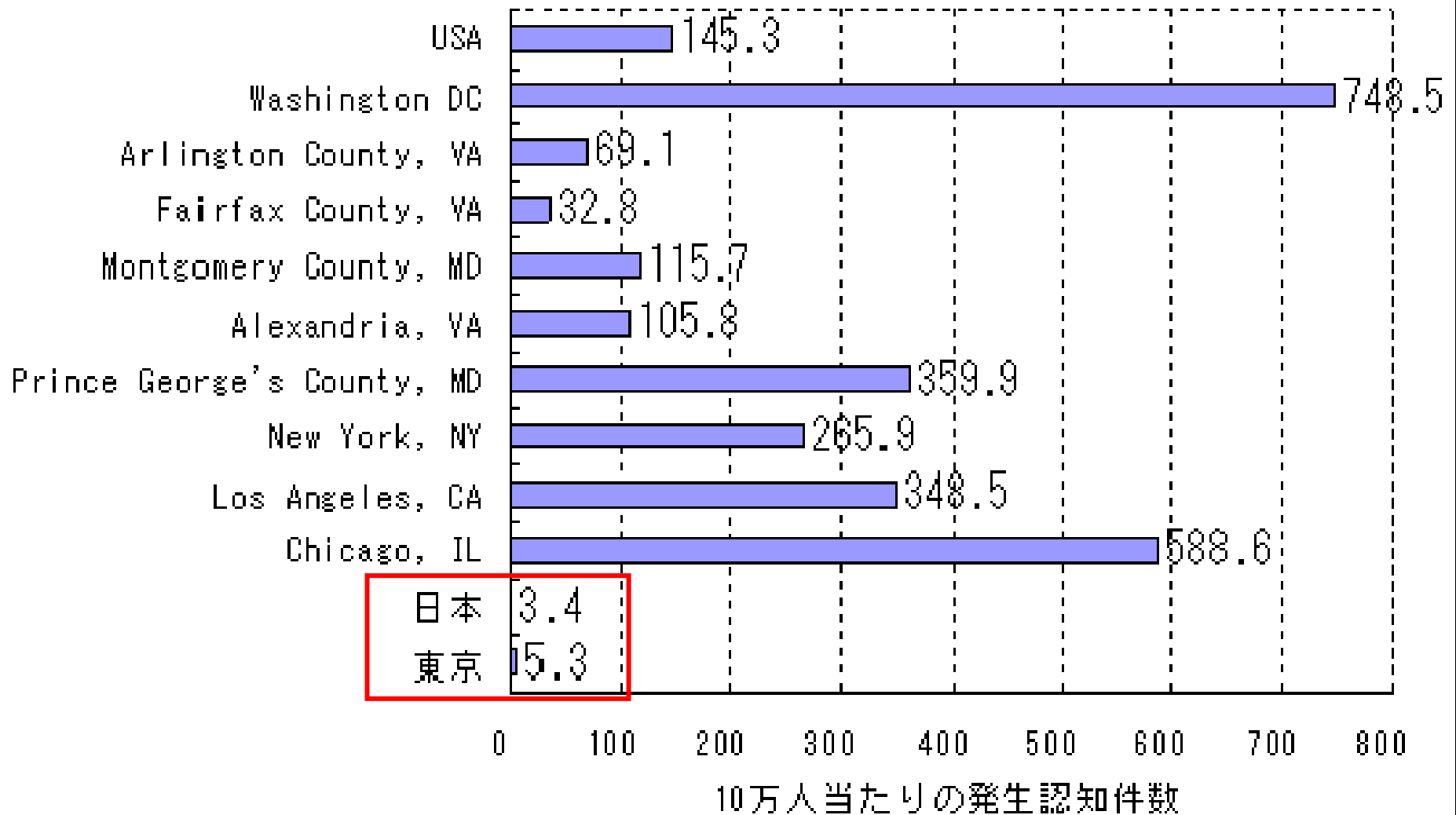
### Motor Vehicle theft (自動車盗)



※在米日本大使館ホームページより



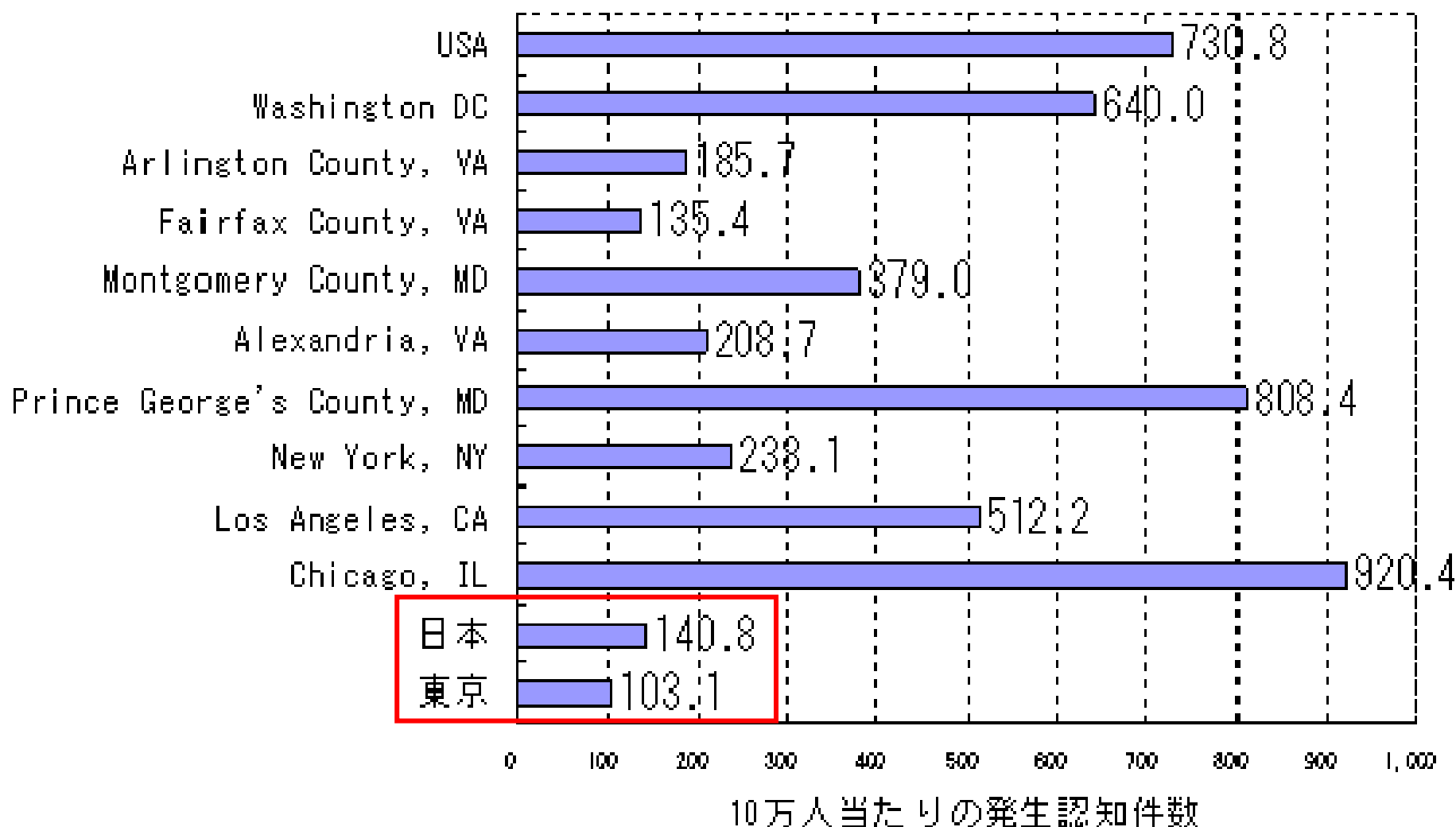
### Robbery (強盗)



※在米日本大使館ホームページより



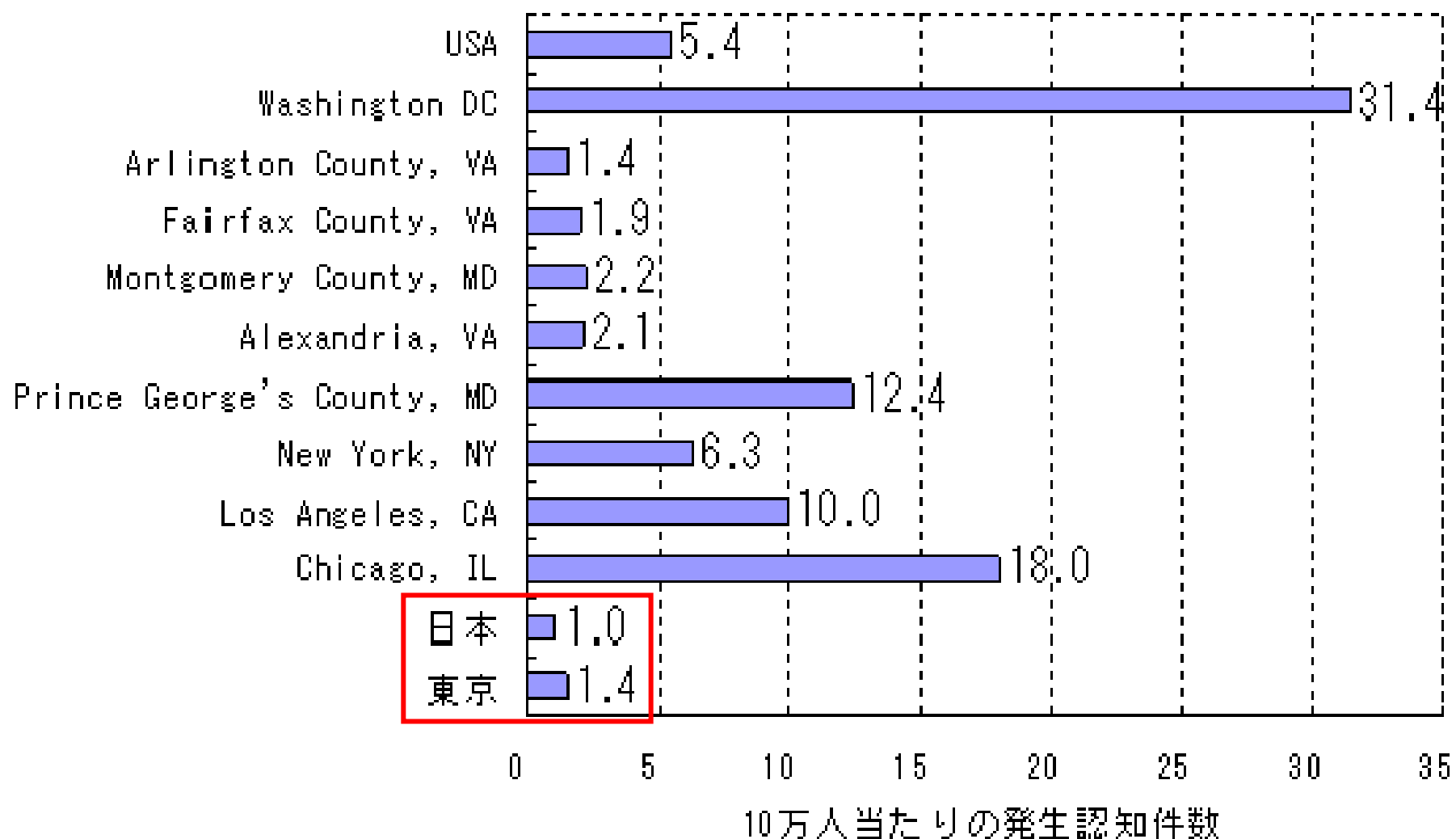
### Burglary (住居侵入及び侵入盗)



※在米日本大使館ホームページより



## Murder and nonnegligent manslaughter (殺人)



※在米日本大使館ホームページより



# 緑あふれる快適な街、東京

水と緑の回廊の形成  
グリーンロード・ネットワークの充実と貴重な緑の保全

加治丘陵

農地の保全

国分寺崖線

白比谷通り

森林の再生

井の頭公園

調布保谷線

校庭の芝生化

水辺空間の緑化(中川)

海の森の将来イメージ

|                  |         |         |
|------------------|---------|---------|
| 主なグリーンロード・ネットワーク | モデル整備路線 | モデル整備地区 |
| 崖線               | 公園      | 丘陵地     |
| 河川               | 農地      | 山地      |

水と緑の回廊とは…  
 「10年後の東京」計画では、東京を緑あふれるまちとするため、海の森の整備、街路樹の倍増、校庭の芝生化、屋上や壁面の緑化など新たな緑の創出とともに、崖線、丘陵地、農地など都市に残された貴重な緑の保全や、森林機能の再生に取り組んでいます。  
 また、江戸川、荒川、多摩川に囲まれた東京は、世界有数の豊かな水辺空間を有しており、隅田川や運河地域などでは賑わいを取り戻す取組も進めています。  
 東京という大都市を、水と緑でつなぎ、さらなる成熟を遂げた世界に誇れる美しい都市、住みごちのよい街へと生まれ変わらせていくこと、これが「水と緑の回廊」に込められた思いです。

※東京都 「『10年後の東京』への実行プログラム2010」より抜粋

意外なことですが、**東京**には緑あふれる大きな公園がたくさんあります。**明治神宮、代々木公園、井の頭恩賜公園、上野恩賜公園、有栖川宮記念公園、六義園、千鳥ヶ淵**など、都心からすぐの場所に、人々がのんびり散策したり、昼寝をしたり、桜の花を眺めたりできる憩いのスポットが数多くあります。

東京都は現在、**水と緑あふれる美しい街づくり**を推進していますので、これからの**東京**はますます**豊かな自然**を堪能できることでしょう。



# レストランの質・種類はピカイチ！

**東京**は世界に誇るべき外食文化を持っています。「和食はもちろん、フレンチ・イタリアン・中華等、様々な種類の料理がこれほどおいしく楽しめることのできる街は、他にない」と、外国人が**東京の食レベルの高さを絶賛**しているほどです。

2009年4月10日付のニューヨークロイター通信の記事によると、米フード・アンド・ワイン・マガジン誌が選ぶ「グルメのための都市」という、最先端の料理と活力ある食事情を格付けするランキングにおいて、**東京が2年連続で1位**に輝きました。革新的なレストランの豊富さと素材の素晴らしさがその理由だそうです。同誌の編集者は、**東京の首位は圧倒的なものだと評価**したそうです。

一大ブームとなった「ミシュランガイド2009」でも、掲載されている星付きレストラン数の多さは173店と、**東京がダントツ**でした。ミシュランに裏付けられているとおり、味・質・サービスレベルの高さ、どれをとっても満足のお店が数多く揃っていることから、**東京のレストランは世界中の人々から愛**されています。



星付きレストランの数

※出典：「ミシュランガイド2009」より

東京が世界に最も誇るべきは外食文化なのでは？と思うくらいミシュランの結果。レベル、充実度、選択肢の幅広さなど、レストランに関する不満が誰ひとりからも聞かれなかったことからその充実ぶりがうかがえる。



※リクルート「都心に住む」2009年11月号より

10

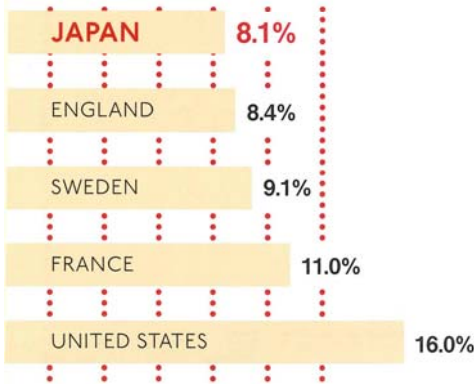


# 充実した医療施設



## 国民総生産(GDP)に対する医療費の比率

※出典：OECD Health Data 2009, June 09  
「OECD諸国の医療費対GDP比率」より



上記の主要国のなかでは最も低く、OECD諸国の30カ国のなかでも21番目に低い比率に。アメリカは公的な医療保険が整っていないことが医療費上昇の一因と考えられる。

※リクルート「都心に住む」  
2009年11月号より

### 目標5

### 施策16 365日24時間安心できる医療システムの構築

3か年事業費  
844億円

#### 「10年後の東京」の姿

- 患者中心の医療を担う臨床能力に優れた医師が、さまざまな診療科で活躍している。
- 救急医療基盤が充実し、安心して医療を受けられる体制が確立している。

#### これまでの主な取組と到達点

- ◇ 医師の人材育成や確保に向けた緊急対策を実施
  - ・医師の確保が困難な地域や診療科に従事する医師を確保・派遣するため、東京都地域医療支援ドクター事業を開始
  - ・地域医療を担う医師を確保・養成するため、医師奨学金制度を創設し、都内医学部生に貸与
- ◇ 周産期医療体制を強化
  - ・一次～三次の医療機関の連携により地域で支える周産期医療ネットワークグループの構築を開始
  - ・母体救命対応が必要な妊産婦を必ず受け入れる「スーパー総合周産期センター」を3施設設置
  - ・地域間の搬送調整を行うコーディネーターを配置
- ◇ 「救急医療の東京ルール」を導入
  - ・救急患者の迅速な受入れのため、地域の救急医療連携の核となる地域救急医療センターを設置
  - ・救急医療のさまざまな場面で、緊急性の高い患者を優先するため、トリアージ制度を導入
- ◇ 都立病院の再編整備
  - ・多摩総合医療センター、小児総合医療センターを開設（平成22年3月）



#### 3年後の到達目標

- 子ども救命センター（仮称）や小児医療ネットワークが順調に機能している。
- 周産期医療においてNICU（新生児集中治療管理室）を320床に増床（平成26年度）

#### 改定のポイント

- 小児重篤患者に対する高度な救命処置、集中治療体制を強化
- 周産期医療を更に体制強化  
低出生体重児（2,500g未満）の出生率は、昭和55年（1980年）は5.2%程度であったが、平成20年には9.6%に増加

#### 3か年の主要事業の展開

#### 小児救急医療

- 子ども救命センター（仮称）の創設
  - ・重篤な子供を迅速に受け入れ、外科・内科を問わず小児特有の症状に対応した高度な救命治療を実施するため、小児総合医療センターなど4病院を指定
  - ・円滑な転院搬送のための施設間調整を実施
  - ・地域の医療機関をサポートする臨床教育・研修等を実施
- 小児医療ネットワークの構築
  - ・限られた医療資源を有効に機能させるため、初期救急から三次救急までの連携を強化し、遠隔画像診断や空床情報の共有化などのモデル事業を実施

#### 周産期医療

- NICUを320床に増床
  - ・ハイリスク妊婦や高度医療が必要な新生児等に対する医療を確保（平成26年度までに）
- 「スーパー総合周産期センター」を多摩地域で新たに指定
  - ・緊急に母体救命処置が必要な妊産婦を必ず受け入れる施設を多摩地域でも指定し、母体の救命体制を充実
- NICUからの円滑な退院ができるよう、地域における支援体制の確立に向けたモデル事業を実施

#### 小児救急医療の体系図

「子ども救命センター（仮称）」  
複数の二次医療圏で構成するブロック単位で4病院を指定  
119番通報

三次：小児救命センター  
二次：二次救急（重症対応）、二次救急（重症対応）  
一次：救急医療センター（救急対応）、救急医療センター（救急対応）

#### 周産期医療ネットワーク

三次：周産期母子医療センター  
二次：周産期連携病院等  
一次：地域の病院等  
患者：正常分娩、中等症、重症  
受入・搬送、搬送調整  
NICU受入体制確保  
他ブロック

※東京都『10年後の東京』への実行プログラム2010』より抜粋

最新設備がそろった東京の医療機関が、今後ますます充実します。東京都が推進する政策により、誰でも、いつでも、どこでも医療施設を利用することができる街へと進化します。子供から老人まで、ケガや病気に脅かされることなく安心して快適に暮らせる街であることは、世界中の人々が東京に移り住みたいと考えるひとつの根拠となっているようです。





# 世界に誇る「東京水」

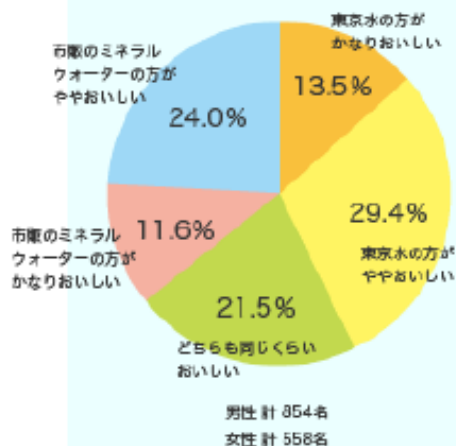


## 東京水と市販のミネラルウォーターの飲み比べアンケート結果

平成21年8月下旬実施/1412名

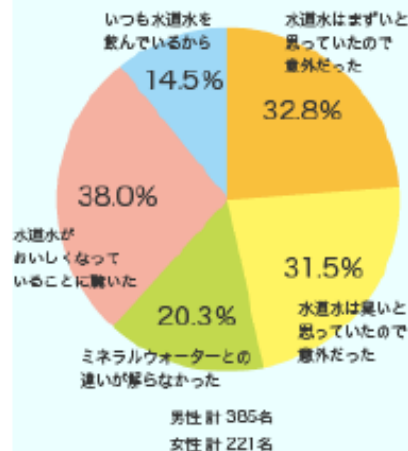
### Q1

東京水と市販のミネラルウォーターを飲み比べてみて、どのように感じになりましたか？



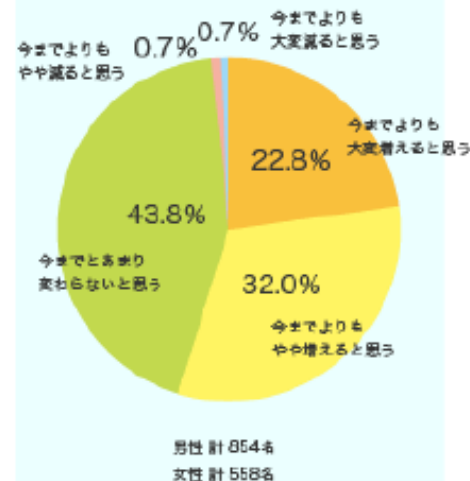
### Q2

東京水の方がおいしいとお答えになったことに関してお考えに近いものをお選びください



### Q3

今後あなたがご家庭の中において水道水を飲む頻度はどう変われると思われませんか？



※東京都水道局ホームページより

2009年3月に東京マラソンが行われた際、参加者全員に「東京水」のペットボトルが配られました。そのパッケージには、こんなことが書かれていました。「東京都水道局では、安全でおいしい水プロジェクトのPRの一環として、高度浄水処理100%の水道水をつめたペットボトル『東京水』をイベント等で無償配布しているほか、都関連施設等での販売や通信販売を実施しています。品質・技術力ともに世界に誇る『東京水』のおいしさを、実感してください！」

東京の水道水は、高度な浄水技術のおかげでおいしく安心して飲めるのです。都会に暮らしながら、水道の蛇口から清潔で安全なお水が飲めるとは、なんて幸せなことでしょう。

